

JACLaP WIRE No.69 (2004年4月9日発行)

\*\*\*\*\*

本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.69 です。

\*\*\*\*\*

===== 目次 =====

【お知らせ】

- 【1】 会員動向 (2004年4月6日現在数 669名, 専門医 465名)
- 【2】 第14回日本臨床検査専門医会春季大会・総会について
- 【3】 要覧配送について
- 【4】 平成16年度会費納入について
- 【5】 アンケート調査に関するお願い

【最新トピックス】

- 【1】 大学病院で患者取り違え防止にリストバンドの導入
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 2月21日号から】
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 3月1日号から】
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 3月11日号から】

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-1】

会員動向 (2004年4月6日現在数 669名, 専門医 465名)

新入会員

- 大石 毅 先生：東京医科大学霞ヶ浦病院中央検査部・感染症科
- 明比 裕子 先生：福岡大学病院 臨床検査部
- 川上 康 先生：筑波大学臨床医学系 臨床病理
- 小方 則夫 先生：富山医科薬科大学臨床検査医学
- 川田 和秀 先生：東京医科大学臨床検査医学
- 藤田 進 先生：東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科
- 菊池 和徳 先生：筑波メディカルセンター病院病理科
- 渡辺 和子 先生：県立多治見病院 病理

所属変更

- 伊藤 機一先生： 旧 神奈川県立衛生短期大学  
新 神奈川県立保健福祉大学
- 大庭 雄三先生： 旧 愛媛労災病院  
新 ハートクリニック南山口
- 月山 雅之先生： 旧 和歌山県立医大臨床検査医学  
新 山本病院
- 布施川久恵先生： 旧 東海大学医学部臨床検査医学

	新	国立療養所神奈川病院
宮島 栄治先生：	旧	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 心臓血管センター講師
	新	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 臨床検査医学教授
河原 邦光先生：	旧	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 臨床病理検査科部長
	新	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 臨床病理検査科 兼 生理機能検査科部長
伊藤 章先生：	旧	横浜市立大学医学部附属病院臨床検査部部長
	新	国際医療福祉大学附属熱海病院教授
前田昭太郎先生	旧	日本医科大学付属多摩永山病院病理部 部長・助教授
	新	日本医科大学付属多摩永山病院病理部 部長・教授
上田 國寛先生	旧	京都大学研究所教授
	新	定年退職
猪川 嗣郎先生	旧	鳥取大学医学部臨床検査医学教授
	新	定年退職
菅野 剛史先生	旧	浜松医科大学副学長
	新	定年退職

逝去会員

鳴山 泰文先生：H.14.9 ご逝去  
 戸澤 辰雄先生：H.16.2.27 ご逝去  
 安藤 泰彦先生：H.16.4.8 ご逝去

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-2】第14回日本臨床検査専門医会春季大会・総会について  
 場所：ピューリテイまきび「孔雀」

日時：平成16年4月9日金曜日 17:00-20:00  
 4月10日土曜日 9:00-17:20

多数の会員のご参加をお願いいたします。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-3】要覧配送について  
 本年度日本臨床検査専門医会要覧をお届けいたしました。  
 所属、住所など誤りがございましたら事務局まで E-mail あるいは FAX でお知らせください。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-4】平成16年度会費納入について  
 本年度会費のお支払いをお願いいたします。  
 なお、本年度からは住所、氏名を入れてお届けしています。

所属、住所、その他の変更がございましたら振り込み時に通信欄にご記入ください。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ5】アンケート調査に関するお願い

厚生労働科学研究“体外診断薬の添付文書のあり方及び適正な安全性情報の提供方法に関する研究”研究班（主任研究者：国立国際医療センター内分泌代謝科、臨床検査部長 葛谷 信明）より下記の内容に関するアンケート調査の依頼がありました。

診断薬の情報提供を受ける側の臨床検査専門医に対して、それぞれが使用している体外診断薬（検査のキット）の添付文書の問題点や改善点についてアンケートにより調査し、その結果をふまえて体外診断薬の特性に応じた分類や適正情報や添付文書のあり方を検討するそうです。後日、会員の皆様にアンケートが送られると思います。ご協力の程、お願い申し上げます。

（獨協医科大学越谷病院臨床検査部 教授 森 三樹雄）

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス】大学病院で患者取り違い防止にリストバンドの導入

患者本人を間違えて手術、輸血、点滴などの医療行為を行う事故が日本全国で相次いで起こっている。このような事故をなくすための対策の一つとして入院患者に、患者名、病棟名、ID番号が記載されたリストバンドを装着して患者本人を確認することが、東大、岡山大、福島医大、山口大、秋田大、信州大、山梨大、東北大などの大学病院で導入されている。

病院によっては、看護師や研修医が院内LANでつながった携帯情報端末(PDA)で患者のリストバンドのID番号と照合して本人確認するとともに、指示された注射液、点滴液の容器に表示されたバーコードと照合することもできる。

PDAを使用する際は、看護師の胸につけたネームプレート上のバーコードを読み取らせ、自分が行った処置を情報として残すことができる。筆者が36年前にボストンの病院で内科のインターンを行った際に、米国では既にリストバンドが広く普及していた。人為的ミスをなくすために、入院患者に対しリストバンドを装着することはよい方法であり、今後わが国でも普及するものと思われる。

（獨協医科大学越谷病院臨床検査部 教授 森 三樹雄）

===== JACLaP WIRE =====

【MTJ（The Medical & Test Journal）2月21日号から】

日本臨床検査医学会 「院内検査実勢価格調査」の実施を検討へ

日本臨床検査医学会の渡辺清明会長（慶応大学医学部教授）は2月16日、本紙の取材に対し「4月の診療報酬改定の検体検査実施料の引き下げをみると、極めて厳しい改定だ」と述べ、早急に検体検査実施料の適正なあり方について検討をしていく考えを表明した。

## 日臨技 静脈採血推奨法 (Ver.1.0) をまとめる

日本臨床衛生検査技師会はこのほど、静脈採血推奨法 (Ver.1.0) をまとめた。適正な検査値を得るために米国NCCLSガイドライン「静脈穿刺による標準的採血方法」や現場の意見などを参考に真空採血管を用いた採血手技のポイントについてまとめたもの。採血以外にも患者の接遇について、採血管の取り扱い、さらに採血後の採血針の廃棄についてもふれている。

## 【MTJ (The Medical & Test Journal) 3月1日号から】

### 日衛協 「円建て契約」の徹底を申し合わせ

日本衛生検査所協会は2月25日、全国営業問題委員会を開き、04年度診療報酬改定後の対応について「円建て(単価建て)請求形態の契約」を順守していく方針を確認した。今回の診療報酬改定における実施料の引き下げ幅が、約10%強になっていることに対して同会は、「実施料と市場実勢価格との間の乖離が依然として存在していることを謙虚に受け止め、今後の価格交渉で努力していくことが必要だ」としている。

### 厚労省 健康手帳の表記方法で指摘相次ぐ

厚生労働省はこのほど行われた「健康診査の実施等に関する検討会」(座長=久道茂・宮城県病院事業管理者)で、最終報告書の骨子案を提示した。骨子案はこれまでの検討会の議論を踏まえ、健康診査の精度管理方法や健康手帳で継続して提供する健康情報の内容、個人情報の取り扱いなどについて項目別にまとめた。

### 私大技師会が緊急調査 真空採血管の通知で半数の施設が手技変更

厚生労働省は昨年11月、真空採血管の使用上の注意について通知をだして医療機関に手技の徹底を指導したが、私立大学病院の約半数の施設では、この通知によって真空採血管の使用方法を変更。しかし、これら施設の約3分の1で採血がしにくい、採血時の失敗がふえたなど問題が生じていることが判明した。

### ベックマンC ISO15189 導入のナビゲーションソフトを発売

ベックマン・コールターは2月24日、コルビーグループが開発したISO15189、CAP導入のためのナビゲーションソフトウェア「ビーグル」を3月から国内で発売

する。

病院の専門性高い検体検査受託 一定条件下で「業」として容認へ

政府の構造改革特別区域推進本部（本部長 = 小泉純一郎首相）は2月20日、昨年11月に全国から受け付けた「特区の第4次提案」に関する対応方針を決定した。医療関係では、病院が専門性の高い検体検査業務を他の医療機関から直接受託し、一定条件下で「業」として行うことを認める方針が盛り込まれた。特区ではなく、全国規模の規制緩和となる。実施時期は03年度中としている。

【MTJ（The Medical & Test Journal）3月11日号から】

民間病院DPC試行で本紙緊急調査 4月試行の手上げは5病院

4月からの診断群分類別包括評価（DPC）試行適用に手上げしている民間病院は、北海道の医療法人社団カレスアライアンス日鋼記念病院、医療法人社団溪仁会手稲溪仁会病院、医療法人鉄蕉会亀田総合病院、医療法人東光会戸田中央総合病院、医療法人伯鳳会赤穂中央病院の5病院であることが、本紙が実施した緊急調査でわかった。

厚生省 新生児の聴覚検査事業で関係機関の連携強化促す

厚生労働省の母子保健課は3月3日に開かれた「障害保健福祉関係主管課長会議」で、新生児の聴覚障害を早期発見するための「新生児聴覚検査事業」について、都道府県に対し、検査を行う医療機関や児童相談所、ろう学校などの関係機関の連携を促し、同事業に積極的に取り組むよう求めた。

JCCLS、採血法のガイドラインを作成へ

日本臨床検査標準協議会（JCCLS、渡辺清明会長）は3月4日、「臨床検査のための採血法検討委員会（仮称）」（渡邊卓委員長・杏林大学教授）の初会合を開いた。同委員会は、より安全な採血のために、日本で標準的なガイドラインを作成することが目的。

日医臨床検査精度管理改善検討会 2,812施設が参加、過去最高を更新

日本医師会の第33回臨床検査精度管理改善検討会が3月5日、日医会館で開かれた。

今回の精度管理調査の参加施設は2,812施設で、前回調査を4施設上回り、過去最高を更新した。調査項目は、昨年と同様の47項目。

#### 04年度診療報酬改定 / P S A精密検査の算定要件が緩和

2004年度診療報酬改定でP S A精密検査実施料(D 0 0 9腫瘍マーカー、180点160点)は、他の検査と同様に引き下げられるが、その算定要件が大幅に変更されることが明らかになった。

#### フクダ電子 C A V I搭載の血圧脈波検査装置を発売

フクダ電子は3月から、動脈硬化の新しい指標：C A V I (キャピィ)を新たに搭載した血圧脈波検査装置「バセラ VS-1000」を発売した。動脈の硬さを客観的に評価する方法として脈波伝播速度(P W V)がある。C A V Iは、P W V原法と互換性を確保するとともに、血圧に依存しない動脈硬化指標(スティフネスパラメータ<sub>2</sub>)の計測を実現した。

#### 日立製作所 無侵襲血糖測定装置を開発

日立製作所パーソナル・ヘルスケアベンチャーカンパニーはこのほど、独自に開発した計測技術により、血液の採取を必要としない無侵襲血糖測定装置を開発した。今回開発した装置は、特殊なセンサ技術を用いて、生体の代謝に関与する熱エネルギー、酸素供給量、血流量などの生理学的なパラメータから血糖値を算出する。

=====

JACLaP WIRE, No.69 (2004年4月9日発行)

発行：日本臨床検査専門医会 [ 情報・出版委員会 ]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

E-mail : jaclap\_wire@yahoo.co.jp

TEL:045-787-2721 FAX:045-786-0392

日本臨床検査専門医会ホームページ : <http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー :

<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

\*\*\*\*\*

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

\*\*\*\*\*

メーリングリスト配信先の変更には  
氏名, 2. 現行登録アドレスと 3. 変更希望メールアドレスを添えて  
jaclap\_wire@yahoo.co.jpまで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。

\*\*\*\*\*